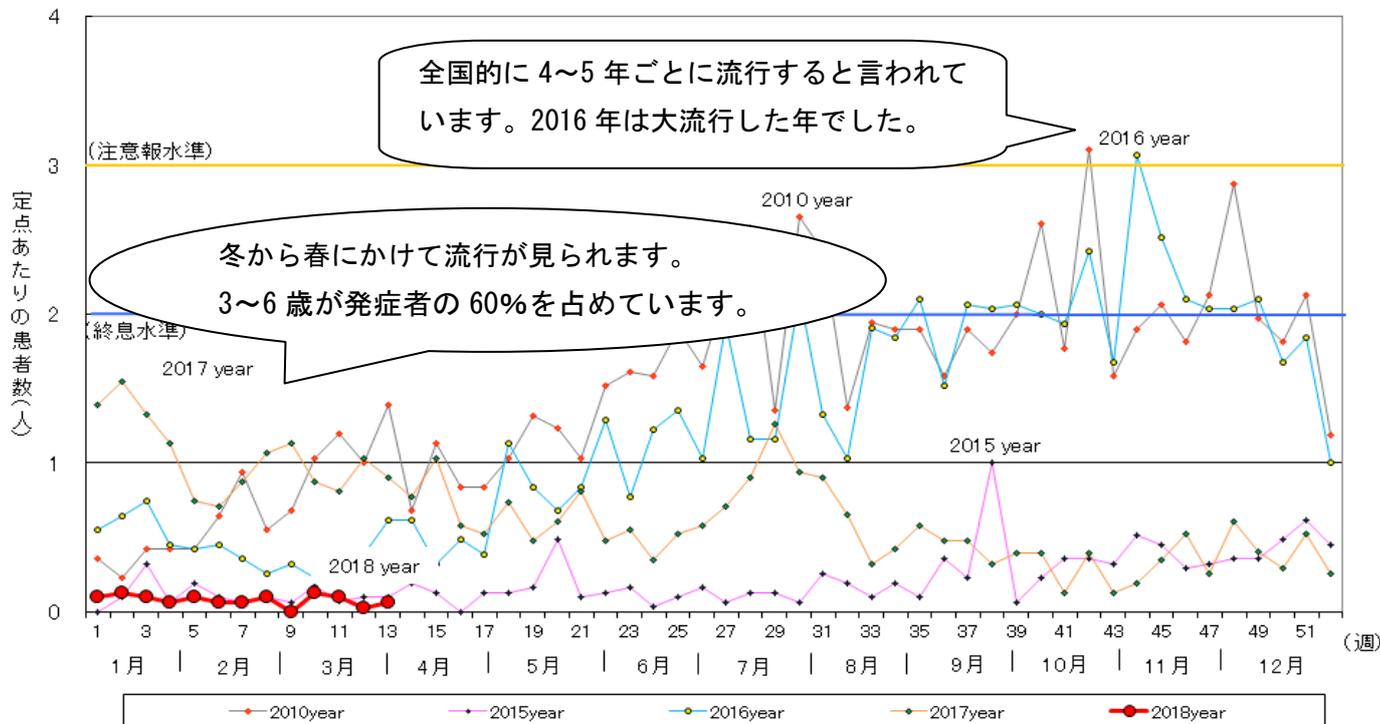


流行性耳下腺炎（おたふく風邪）について

定点あたりの流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）報告数



○ 流行性耳下腺炎とは？

病原体はムンプスウイルスで、「おたふくかぜ」とも呼ばれます。患者の咳やくしゃみなどを吸い込むことによる飛沫感染、または、唾液との直接接触により感染します。



○ 症状は？

2~3週間の潜伏期間を経て、耳の下からあごのあたりにかけて腫れと痛みが現れます。

まれに、髄膜炎、精巣炎、卵巣炎、膵炎、難聴などの合併症を起こすことがあります。

感染予防のポイント

- ◎ ウイルスは耳の下辺りが腫れてくる数日前から腫張9日後まで検出されるといわれ、人同士が直接接触する機会の多い施設等で集団発生が起こることがあります。
- ◎ 流行状況を確認し、症状のある人との濃厚な接触は避けましょう。
- ◎ ワクチン接種が効果的ですが、任意接種であるため、接種費用は自己負担となります。接種を希望される場合は、かかりつけ医などに相談しましょう。



流行性耳下腺炎は学校保健安全法で出席停止対象の感染症に指定されています。登校に際しては主治医に相談しましょう。